

サルボウ採苗予報調査

坂本 浩毅

有明海佐賀県海域で重要な二枚貝であるサルボウは、春季から夏季にかけて、佐賀県中西南部のノリ養殖漁場とほぼ一致する漁場で漁獲されている。

サルボウは例年6月から8月にかけて産卵し、孵化した幼生は海水中を一定期間浮遊した後、海底面付近の基質に付着し、成貝へ成長する。現在、漁業者はサルボウ稚貝を効率よく定着させるため、メダケやメダケ基部にヤシの実繊維を固定した採苗器(以下、パーム竹)を設置している。

当センターでは、漁業者が採苗器の設置時期を判断するのに有益な情報を提供するために、1974年から漁場内での浮遊幼生の発生状況と稚貝の付着状況を調査している。今年度も同様の調査を実施したので報告する。

方法

本調査はサルボウの浮遊幼生が出現し始める6月から8月にかけて、図1に示す5定点において原則として、毎月3回の頻度で実施した。



図1 調査定点

1. 水温、比重

多項目水質計(JFEアドバンテック社,ASTD102)を用いて水温と塩分の水質データを収集した。比重(※)は塩分データをもとに算出し、漁業者が慣用する記載方法で表記した。平年値は、平成7年から令和6年までの30年平均を用いた。

※比重:有明海沿岸の漁業者が慣用的に用いる値。

ここで記載の比重20は、実際には1.020。

2. 浮遊幼生

北原式定量プランクトンネット(目合100 μ m)を用いて、底層(B-1m)から表層までの鉛直曳きで採取した。試料はグルタルアルデヒド固定後実験室に持ち帰り、光学顕微鏡を用いて外部形態から同定し計数した。平年値は、平成7年から令和6年までの30年平均を用いた。

3. 付着稚貝

パーム繊維を10gの束にしたもの(以下、パーム)を、図2のように海底面付近に設置した。パームは調査日毎に新しいものと交換し、回収したパームはグルタルアルデヒド固定後、実験室に持ち帰り、付着した稚貝を光学顕微鏡および実体顕微鏡を用いて外部形態から同定し計数した。平年値は、平成7年から令和6年までの30年平均を用いた。

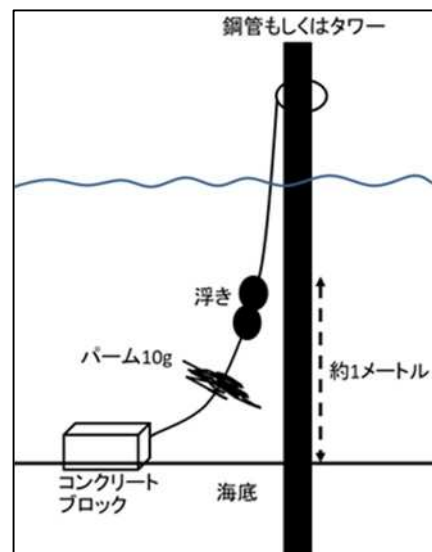


図2 採苗器概要図

結果

1. 水温, 比重

調査期間中の底層水温は20.8～29.5℃(図3), 底層比重は16.9～21.8(図4)で推移した。今年度は7月の降水量が少なく, 6月上旬と8月中旬で降水量が多かったため, 比重の低下は例年とは異なる時期の6月上旬と8月中旬に発生した。

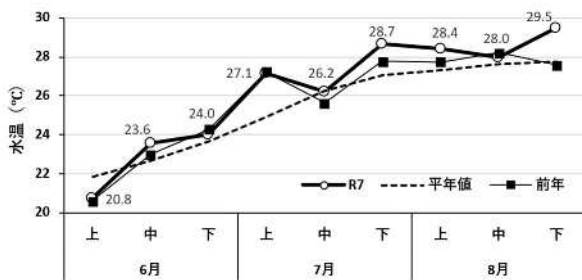


図3 底層水温の推移

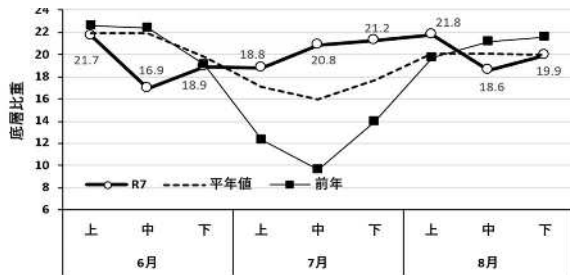


図4 底層比重の推移

2. 浮遊幼生の出現推移

浮遊幼生は, 期間を通して平年よりも少なく推移し, 8月上旬に今年度最多となる510個/m³が確認された(図5)。幼生数が平年よりも少なく推移した理由として, 令和6年2月下旬時点の佐賀県海域のサルボウ資源量は16.8トンで, 産卵母貝が少なかったことが考えられた。

底層比重は例年, 6月下旬から低下し, 7月中旬に最低値となった後, 徐々に上昇する傾向がみられる。昨年度は, 7月中旬における比重低下が例年よりも大きく, 強い産卵誘発刺激が生じた結果, 浮遊幼生および付着稚貝が特定の時期に集中して発生した。一方, 今年度は例年および昨年度と比較して, 浮遊幼生の増加が緩やかであった。この要因として, 河川水の流入量が例年より少なく, 産卵を誘発する環境変化が緩やかであった可能性が考えられる。

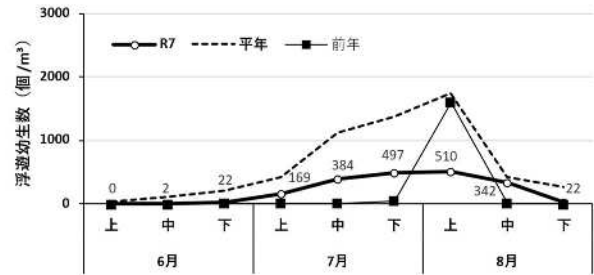


図5 浮遊幼生の推移

3. 付着稚貝の出現推移

付着稚貝は, 7月下旬までは極めて少ない状況であったものの, 8月上旬には204個/パーム10g/日まで増加した(図6)。

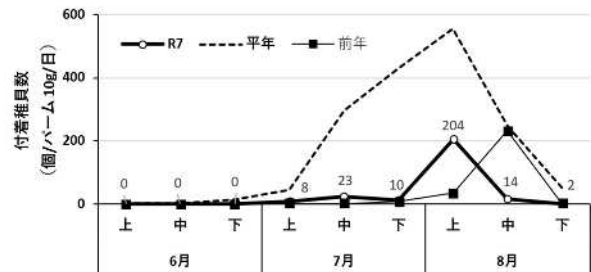


図6 付着稚貝の推移

4. サルボウ採苗情報

本調査結果については, 毎調査後に漁業者へ情報提供を行うとともに(第1報～第9報), 当センターのホームページにも公開した(図7)。

令和7年度サルボウ採苗情報 (第9報)

令和7年8月26日(火) 佐賀県有明水産振興センター

今年度のサルボウの産卵期は終了したと考えられます

| | |
|------|---|
| 調査日 | ・ 令和7年8月26日(火) |
| 浮遊幼生 | ・ 浮遊幼生は0~51個/m ³ と少なく、今年度の産卵はほぼ終了したと考えられます。 ・ 今年度は昨年8月上旬のようにまとまった産卵でなく、7月上旬から8月中旬の間に 平年より少ないが、一定量の産卵が行われた と考えられます。 |
| 付着稚貝 | ・ 付着稚貝数は0~6個/m ² -h10g/日で、前回調査より減少しています。 ・ 今年度の付着稚貝数は前年並みで、平年より かなり少ない 状況でした。 |
| 水温 | ・ 底層水温は平均 29.5℃ で、平年よりかなり高めです。 |
| 比重 | ・ 底層比重は平均 19.9 で、平年並みです。 |
| 次回調査 | ・ 今年度のサルボウ採苗調査は今回で終了します。 |



表1 調査結果

平年値：H7~R6の旬別平均

| 地点 | ① 浮遊幼生数 (個/m ³) | | ② 付着稚貝数 (個/m ² -h10g/日) | | ③ 底層水温 (℃) | | ④ 底層比重 | |
|-----|-----------------------------|-----|------------------------------------|-----|------------|------|---------|------|
| | R7 8月下旬 | 平年値 | R7 8月下旬 | 平年値 | R7 8月下旬 | 平年値 | R7 8月下旬 | 平年値 |
| 川副 | 51 | 435 | 1 | 20 | 29.8 | 27.6 | 19.5 | 19.9 |
| 芦刈 | 9 | 81 | 6 | 83 | 30.0 | 28.0 | 19.3 | 19.4 |
| 白石 | 0 | 168 | 6 | 79 | 29.6 | 27.9 | 19.8 | 19.8 |
| 浜 | 8 | 394 | 0 | 30 | 29.7 | 27.8 | 19.7 | 19.6 |
| 太良 | 42 | 301 | 0 | 23 | 28.4 | 27.4 | 21.0 | 21.0 |
| 平均値 | 22 | 276 | 2 | 47 | 29.5 | 27.7 | 19.9 | 20.0 |

図1 浮遊幼生数の推移 (5地点平均)

平年値：H7~R6の旬別平均

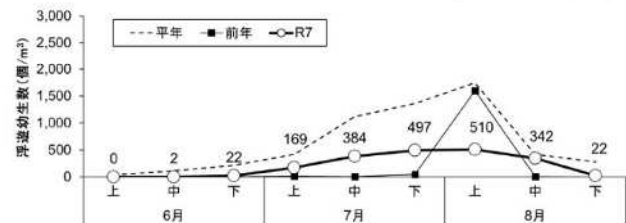


図2 付着稚貝数の推移 (5地点平均)

平年値：H7~R6の旬別平均

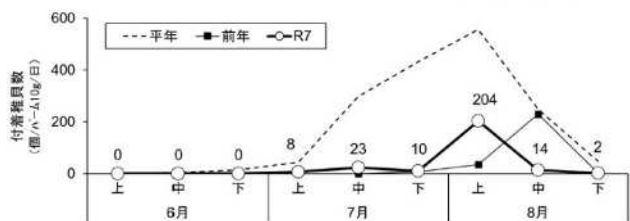


図7 令和7年度モガイ採苗情報 (第9報)